

平成27年度 ECC学園高等学校 学校評価

本年度の  
重点目標

- ・高島市の自然環境、文化を活かした教育を実践する
- ・一人ひとりのニーズに合わせた進路実現を目指す
- ・学校行事等の活性化を図る

評価基準—（肯定的評価が） A：75%以上 B：50～74% C：25～54% D：25%未満

領域	重点評価項目	生徒評価	保護者評価	自己評価
学校生活	学校の施設や設備は充実している。	A	—	B
	学校は生徒や保護者に通信制高校の仕組みを理解させている。	A	A	A
	学校は生徒にとって満足度の高い教育を行っている。	A	A	B
学習指導	レポートの難易度や分量は適切である。	B	B	B
	学校は学習理解に役立つレポート指導を行っている。	—	A	B
	学校は高島市の文化や自然を生かした体験活動を行っている。	B	A	A
	スクーリングでの体験学習は、有意義なものとなっている。	B	—	A
	テストの難易度や分量は適切である。	A	—	B
生徒支援	学校は質問や相談に対して、親身になって対応している。	A	A	A
	学校は進路実現に向けた情報提供や相談の機会を、適切に行っている。	A	B	B
	学校は家庭との連携を適切に取っている。	—	A	B

■学校評価アンケート 自由回答欄より抜粋

- ・レポート（特に数学が）難しい。放送視聴とレポートを減らして欲しい。
- ・先生が勉強も遊びも一生懸命で嬉しい。
- ・笑顔が増え、明るくなりました。本当にありがとうございました。
- ・保護者会などの場で、他の親の方とお話できて楽になりました。
- ・子どもの状況にあわせて対応して下さい、大変感謝しております。
- ・先生が忙しそうで、ゆっくり話しができないと時々愚痴を言っていることがありましたが、全体としては満足しています。
- ・先生方が生徒のことをすごく見て、理解してくれていると思います。
- ・入学前は、こんなに元気で自信が回復できるとは思っていませんでした。
- ・しっかりと話を聞いて下さっているので勉強以外の事も話ができていると感じます。
- ・レポートに関しては、生徒の学力差が大きいため、仕方ないと思っております。
- ・途中入学でしたが、こちらの学校は本人もリラックスして行けた様子で、とても良かったと思います。
- ・学校に登校することに、これまでこだわりや抵抗感があったのに、ここまで来られたのは先生の力だと思います。
- ・通信制なので仕方ないかもしれませんが、もう少し就職指導をしていただきたかったです。

■今後努力すべき点

- ① 生徒数が伸び悩み、3年連続で生徒数が減少したこと。中学校・高校への訪問営業を強化していく。ただ27年度5月以降の途中入学生は増加し、27年度入学生（転入学も含む）は3年ぶりに100人を越えて、明るい兆しもある。
- ② 在籍生徒数が当初目標（入学定員600名）に対して、50%に満たないため、教育内容の充実と広報活動に一層の努力を行うこと。
- ③ 経済情勢もあり経済的な問題で在宅スタイルを選ぶ生徒が増える傾向にあるが、サポートするための時間的・物理的制約もあり、通学スタイルに比べて単位を落としてしまう生徒が多い。月1回本校でレポート指導等ができる「プラスサポートコース」を導入し、在宅スタイルの選択の幅を広げ、生徒の相談窓口の充実とともに、保護者会への参加を促し、家族によるサポート体制がとれるような工夫をしていくこと。
- ④ スクーリングの体験メニューも広がってきたが、まだまだ高島の地域資源を活かしきっていない。市内の地場産業とも結びつけた体験活動など、メニューの多様化を一層図っていく必要がある。
- ⑤ 発達障がい等で、進学や就労が難しい生徒が卒業後に相談できる機関への紹介や、橋渡しを充実させていく必要がある。